



2019 年度 東海産業衛生技術部会特別企画：

ErgonomicThon

産業安全保健活動に役立つ人間工学ナッジを学ぼう — 行動変容を促す理論と実践ワークショップ —

日 程：2019 年 12 月 21 日（土）13 時 30 分～16 時 45 分（予定）

場 所：イールーム 名古屋駅前 A（貸会議室）

愛知県名古屋市中村区名駅 3-12-14 今井ビル 5F ([MAP](#))

*名古屋駅東口から徒歩 5 分

<https://www.spacee.jp/listings/10975>

定 員：30 名予定 【申込期限：2019 年 12 月 6 日（金）】

申込先：専用ページ <https://forms.gle/hwNydwVw7MPtXZaL6>

（右記 QR コードを読み込んで下さい。）

*参加費無料。事前申込制。先着順で規定人数に達した場合は申し込みを打ち切らせて頂きます。

*専用フォームが使えない場合は下記問い合わせ先にメールでお申し込みください。その際、題名は「技術部会特別企画参加希望」とし、本文に 1)お名前、2)ご所属・職種、3) 下記 6 つのうち、関心のあるテーマ【以上必須項目】、4) 仕事で困っていること・解決したいこと【非必須。ケースシナリオの参考にします】を書いてください。

内 容：

■13:30-14:30「産業安全保健活動に活かす行動科学の理論と実践：人間工学ナッジを学ぼう」

講師：榎原 毅（名古屋市立大学大学院医学研究科）

■14:40-16:45「ErgonomicThon ワークショップ」

*産業保健関連職毎のテーマを各グループで設定し、ケースシナリオに基づいてグループワークを実施、ソリューション提案をまとめて発表してもらいます。

【司 会】：榎原 毅（名古屋市立大学）・山田泰行（順天堂大学）

【テーマ（参加者の提案により変更あり）】：グループ別に担当モデレータを配置します。

①化学物質管理、②環境測定、③栄養・運動、④作業管理・人間工学、⑤保健指導、⑥職場巡視

主 催：日本産業衛生学会東海地方会 東海産業衛生技術部会

共 催：日本人間工学会学会改革・戦略委員会

問い合わせ先：[yukey アットマーク med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:yukey@med.nagoya-cu.ac.jp) 伊藤由起（東海技術部会事務局、名古屋市立大学）



申込専用ページ

【企画概要】

- 東海産業衛生技術部会では、化学物質等の環境、人間工学の本来の2つの柱に加え、近年心理や栄養など疾病構造の複雑化に伴い、現在多種多様な専門性人材が産業衛生分野で活躍していることから、様々な立場の方に共通の産業安全保健(OSH)活動のコア・コンピテンシーを学習・習得する機会を試験的に設けることにしました。
- 今年度は標記タイトルのワークショップを開催します。日本人間工学会学会改革・戦略委員会が推進しているワークショップ「ErgonomicThon（エルゴノミクソン）＊」の実務者向けプログラムを本技術部会企画として実施します。

＊人間工学版ハッカソン＊プロジェクト。ハッカソンとは「hack（ハック）＋marathon（マラソン）」からの造語でソフトウェア開発者が一定期間集中的にプログラムの開発やサービスの考案などの共同作業を行い、その技能やアイデアを競う催し（ハッカソンのほかアイデアソンも有名）。オープンイノベーションの手法としても注目されているこのプログラムを応用し、人間工学の設計手法・課題解決手法を学ぶワークショップがErgonomicThonです。人間工学的なソリューション・イノベーション手法を学び、職場改善活動・地域コミュニティに応用・実践するためのスキル・知識・実践力（Ergonomic Takeaway）について、グループワークを通じて学びます。